

2021年8月19日(木)

① FRB

米連邦準備理事会(FRB)は18日、7月の米連邦公開市場委員会(FOMC)の議事要旨を公開しました。米国債などを買い入れる量的緩和の縮小(テーパリング)開始について議論し、「ほとんどの参加者が今年中に購入額の減額を始めることが適当」と判断しています。

いよいよ本格的にFRBが大規模緩和の修正へと動き出すことになりそうです。

「9月発表の米雇用統計が再び堅調な結果となれば、早ければ同22日の米連邦公開市場委員会(FOMC)でテーパリングが発表される可能性もある」(JPモルガン証券の山脇貴史債券調査部長)

議事要旨公開を受けて、NYダウ平均は▲382ドル、ナスダックも▲130ポイントとなっています。

【NYダウ:1週間】



② 原油

中国による原油輸入が2ヶ月連続で前年同月比2割減少しました
コロナのデルタ型感染拡大もあり原油価格が大きく下落しています
米国のテーパリングも近づき、これまで上昇してきた投資対象は一旦利益確定となる可能性が高くなってきました

【WTI原油:1週間】



③ 豪ドル & NZドル

NZは新規コロナ感染者(デルタ型)が10人となり全土で外出規制に
物価上昇が+3.3%となり金融緩和の方向性が見えていた同国は、一転慎重に
これを受けて円高NZドル安となっています

豪ドルも物価上昇が+3.6%となっているものの、1豪ドル79円前半とNZドルと連れ安になっています
次の展開に備えて、豪ドルの円高局面は丹念に拾いたいところです

【NZドル:1週間】



【豪ドル:1週間】

